

ときつちよう　うちどく　すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじ　む　ねん　あきごう
幼児向け　２０２６年　秋号



ときつちようりつときつとしょかん
発行：時津町立時津図書館

うちどく

家読とは

かぞく　みな　で　好きな　ほん　を　読んで、　よんだ　ほん
家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本
について話す。これが「うちどく（家読）」

です。むずかしいルールはいりません。
かぞく　みな　で　ルール　を　決めて　はじめて　みま
家族みんなでルールを決めてはじめてみま

しょう。
かぞく　おな　ほん　よ　おとうさん
家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい
じかん　を　すご　し　ま　し　う　。
時間を過ごしましょう。



『パンパンジェントルパン』

増田　和子/さく
（福音館書店）

まるいかさの下に細長いじくがついているもの。そう、みんなが知っている“きのこ”。

でも、きのこってなんだろう？あれ？意外と知らないかも!?

きのこが何なのか、どこにどうやって、何のために生えているのか、やさしい言葉と繊細な絵で丁寧に教えてくれる絵本です。

フランスパン紳士のジェントルパンは今日もおでかけをします。突然の雨でしなしになっても、カフェで雨宿りしたらもとどおり!と思ったら、つぎはドン・チョココロネとぶつかってしまっ…。

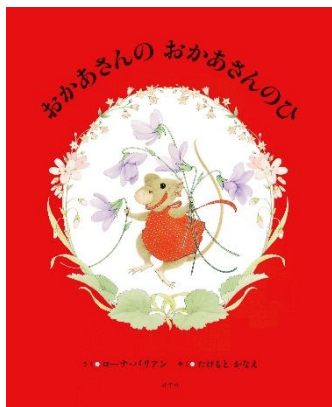
リズムのいい文章が思わず口ずさみたくなる心地よさです。



『ママのおむかえ、どっちがはやい?』

エマ・ヴィルケ/文　ヨアンナ・ヘルグレン/絵
菱木　晃子/訳（徳間書店）

まど　べ　ふたり　おんな　こ
窓辺で二人の女の子がママのおむかえを
まっています。二人は「きっとうちのママ
のおむかえがはやいわ」と言い合っていますよ。
きっとうごろママたちは、バスに
ったり、自転車（じてんしゃ）をこいだり、走（はし）ったり、泳（およ）
いだり、飛（と）んだりしながら？おむかえに
きているはず…。想像（そうそうりよく）力がひろがるユーモア
たっぷりの絵本です。



『おかあさんのおかあさんのひ』

ローナ・バリアン/さく　たけもと　かなえ/やく
（好学社）

きょう　ひ
今日はとくべつな日。ねずみのヘイゼル
はおかあさんをたずねました。でも、おかあ
さんはおばあちゃんに会（あ）いにでかけていて、
いませんでした。ところが、おばあちゃんも
ひいおばあちゃんに会（あ）いで出かけていて…。

とってもかわいいすれちがい。おじいちゃんや
おばあちゃんに会（あ）いにいきたくなる絵本（ほん）です。



『いつものあさのあいうえお』

うえだ　まこと/作（あかね書房）

なにげない日常（にちじよう　ひそ）に潜（ひそ）む「あいうえお」を
やさしい水彩画（すいさいが）でつづる、「ことばあそび」
絵本（えほん）。子どもと一緒に声（こゑ）に出（だ）して読（よ）んでみ
ましょう。

子どもをひざに抱（だ）っこして過（す）ごす、かけ
がえのない時間（じかん）。優（やさ）しさにあふれる絵（え）が至（し）
福（ふく）の時（とき）を演（えん）出（しゅつ）してくれます。



『つきよのたまご』

なかがわ　ちひろ/文　さとう　ゆうすけ/絵
（BL 出版）

木の陰（かげ）などでひっそりと暮（く）らしている、
とてもちいさなひとたち。彼（かれ）らはすがた
たちがさまざまです。その中のひとりである
ぽぽろには、もうすぐ妹（いもうと）がうまれるよう
です。友（とも）だちの姿（すがた）をみては、妹（いもうと）が
「こんなだったらいいのに」と考（かん）えるぽ
ぽろですが、ついに妹（いもうと）のたまごにひびが
はいて…。